

地

元

密

着

通

信



Jimoto mitchaku
tsushin

各地区通信員のみなさんから届いた地元のできごとを紹介します！

あなたの地区ではどんなできごとがあったでしょう。ぜひチェックしてみてください！

楽しい行事が行われる
ようになってきて、嬉
しいですね！



開 園後初めての「かわまた認定
こども園運動会」が9月30日
園内のグラウンドで行われました。
雨が上がった後の曇り空でしたが、
爽やかな空気の中、元気いっぱいの
声が会場に響き渡りました。開会式
では、園長先生と町長の挨拶があり、
その後、紅白に分かれて応援合戦が
繰り広げられましたが、その雄叫び
の声は素晴らしく、私も「オー」っ
と声を出してしまっただけでした。
0歳児から5歳児まで174名の
園児が玉入れ・かけっこ・リレーな
ど15種目、盛り沢山でした。グラウ
ンドは応援の家族でいっぱいでした。

かわまた認定こども園運動会

川
保南自治会
木瀬君通信員



歴史・古代ロマンの魅
力を感じられる研修会
となりました。



歴 史や文化、参加者の交流を目
的とした小神自治会・小神公
民館合同の研修旅行で、会津若松市
の「鶴ヶ城」と「福島県立博物館」
に行ってきました。鶴ヶ城の天守閣
は長寿命化工事が今年の春に終わり、
現在の天守台石垣と塩蔵について分
かりやすく紹介していました。
川俣町では「前田遺跡」が多岐に
わたり全国に類を見ない縄文期の遺
構や遺物が確認され地域住民のみな
らず、研究者の感心を集めていると
聞きます。
是非、これからの「町の資源」と
して文化振興に繋げてほしいです。

自治会・公民館合同研修会

小
神自治会
青柳吉浩通信員



準備と後片付けがスム
ーズに出来るようにな
って良かったですね！



今 まで使用していたテーブルと
椅子は、古くて重かったため、
準備と後片付けをする利用者の方
にご不便をおかけしていました。
しかし、このたび「コミュニティ助
成事業」を活用して、宝くじの助成金
で備品を購入することが出来ました。
軽くて使い易いテーブル20台、折
りたたみ椅子60脚、折りたたみ椅子
収納台車1台、ワンタッチテント1
張、座卓テーブル10台を飯坂公民館
に配置しました。
これからも引き続き地域交流の場
として、皆さんにご利用していただ
きたいと思います。

飯坂公民館の新しい備品

飯
坂自治会
佐藤秀夫通信員





山木屋地区自治会

牛田ジョシユア昭彦通信員



山木屋中学校地域交流

山 木屋中学校では、総合的な学習の時間に「ふる里やまきや科」と題して、山木屋地区の「もの・ひと・みらい」に焦点をあてた探求学習を行っています。

9月15日は地域交流として、生徒さんと地域の皆さんと一緒にTシャツをエコバッグにリメイクしたり、そば茶やそば粉を使った非常食を作りました。私も参加しましたが、実用性が高く非常時に役立つものなので参加して良かったと思いました。

地域の皆さんも生徒さんと、まるで本当の家族のような雰囲気楽しんでいました。



「な～んだって、器用に出来っことお～！たまげっちゃう～！」



福沢自治会

菅野奈美子通信員



琴伝流大正琴、川俣古睦会

福 沢公民館から『岸壁の母』の琴音色が快く響いています。古睦会の皆さんが、講師の中島幸澄先生が来館する前に自主練習です。

中島先生に、琴伝流大正琴川俣古睦会について伺いました。昭和四十年代農業協同組合（現在JAふくしま未来）婦人部を中心に、仲間づくりのため『大正琴』を支援。その中で『古睦会』を設立したそうです。

古睦会は、NHKホールにて演奏、各種大会への参加、ボランティア活動などを行っているそうです。現在会員は9名とのこと。今は、東北大会を控え練習に熱が入っています。



大正琴はメロディーパートの他に、3つの演奏パートがあります。年間を通して会員募集中です！



宮崎自治会

丹野早苗通信員



草刈り奉仕作業

宮 崎自治会環境部、延べ14名が2回に渡り草刈りの奉仕作業を実施しました。1回目は春日神社境内と川俣小学校のバックネット裏。2回目は川俣中学校の旧テニスコート周辺です。今年は草の成長が早く、子どもの背丈程も伸びていました。

宮崎自治会内は、川俣町重要文化財の春日神社があります。今年は秋の例大祭も行われました。また、文化教育地区でもあるため、小中学生が安心して気持ちよく通学していただきたいと活動しています。

環境部の皆さん休日のところ、奉仕作業をありがとうございました。



環境部の皆さんが9月下旬と10月上旬の日曜日に実施しました！



小島自治会

落合幸男通信員



あの日を忘れないために

私 たち、小島サロンのメンバー20名を乗せたバスは、双葉町にある『東日本大震災・原子力災害伝承館』を訪ね、「あの日」にタイムスリップしてきました。広い敷地にある伝承館には、巨大なマルチスクリーンがあり、巨大な津波が写し出され、その波は私たちの足元にまで押し寄せてきました。津波と原発の事故から避難する相双地区の方は命の道を川俣町へと向かってきたのかと思うと、心がざわめきました。

「あの日」から12年です。処理水と除染土の対策は、ある意味で始まったばかりだと知らされました。



今回の研修は、一人ひとりの心に重く残った一日でした。

